

JST 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START) 大学・エコシステム推進型  
第 2 期スタートアップ・エコシステム形成支援事業 博士プログラム

## GTIE Overseas Bootcamp for Graduate Students

### 募集要領

募集締切	2026 年 6月2日 (火) 正午 (厳守)
------	-------------------------



2026 年 5 月

本募集要領は、Greater Tokyo Innovation Ecosystem（以下、「GTIE」という。）が募集する「GTIE Overseas Bootcamp for Graduate Students」（以下、「本プログラム」という。）について記載しています。

## 1. 概要

### （1） 趣旨・目的

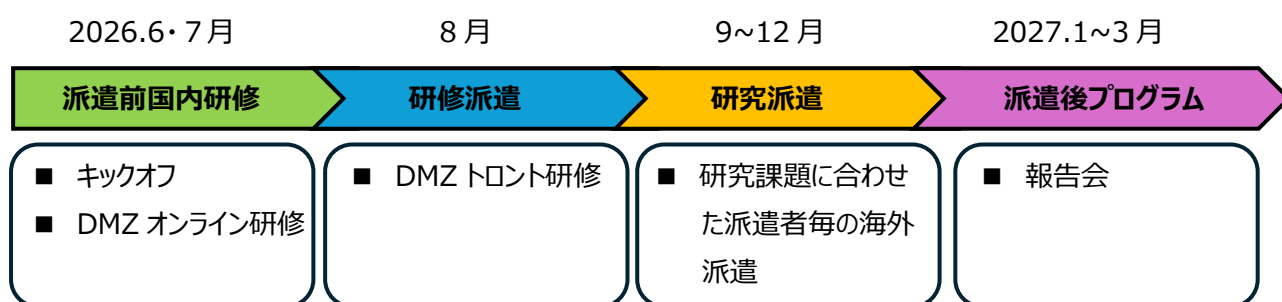
本プログラムは、GTIE に主幹・共同機関として参画する大学に所属し、将来の起業を志向する大学院生（修士・博士課程）を対象に、各自の専門分野を基盤としながら、事業化に不可欠な起業知識および実践的能力の涵養を目的として実施します。特に、ディープテック領域における研究成果の社会実装を見据え、起業マインドの醸成と国際的な人的ネットワークの構築を重視しています。

本取組は、2 回の海外研修を中核とし、派遣前の事前研修から派遣後のフォローアップまでを一体的に設計しています。事前研修では、起業の基礎知識の習得に加え、研究テーマの事業化可能性を検討します。また、海外の研究・研修機関は受講者自身が主体的に開拓・選定することとし、主体性および実行力の強化を図ります。派遣後には、成果報告および受講者間の相互フィードバックの機会を設け、学びの定着とネットワークの持続的な発展を支援します。これら一連のプロセスを通じて、ディープテックを活用した事業化および起業に挑戦する人材の育成を目指し、2027 年 3 月まで展開します。

なお、本プログラムに採択された学生には、海外渡航費・現地滞在費・プログラム受講費等が GTIE より支援されます。参加者は、ビジネス仮説の検証やサービス・プロダクトの試行開発等に取り組み、プログラム終了後も事業化活動を継続することで、将来的に大学発スタートアップの創出、あるいはその経営・事業・研究開発への参画が期待されます。

※本プログラムの一部は、GTIE 以外に、JST から同じく START スタートアップ・エコシステム形成支援事業に採択されている PF に所属する学生（以下「他 PF 推薦学生」）が参加します。

### （2） 本プログラムの構成・内容



【派遣前国内研修 Pre-Training】		
<b>[PT1：日本語]</b> 2026 年 6月19・20 日	<b>キックオフミーティング：</b> 参加者間の初回顔合わせとアイスブレイクを行い、今後のプログラムの内容を共有 ※本プログラムは、他 PF 推薦学生も参加	<b>必修</b> 1.5 日（対面）を予定
<b>[PT2：英語]</b> 2026 年 6~7月 （詳細調整中）	<b>DMZ 提供のオンライン研修プログラム受講：</b> 研究の事業化の基礎、ビジネスモデルキャンパス、顧客分析・インタビュー、MVP 開発・検証、Go-to-	<b>必修</b> 各回約 2 時間、オンライン参加 （日本時間夜 9 時頃開始 × 4

	market、知財戦略、ブランディング ※本プログラムは、他 PF 推薦学生も参加	回)
<b>【研修派遣 Overseas Dispatch for Entrepreneurship Program in Toronto】</b>		
<b>[OD1 : 英語]</b> 2026 年 8 月 10~21 日(現地)	<b>DMZ 提供の海外研修プログラム受講 :</b> カナダを拠点とする世界トップクラスのスタートアップ 支援団体 DMZ が GTIE 向けに特別提供するア ントレプレナーシッププログラムをトロントで受講 ※本プログラムは、他 PF 推薦学生も参加	<b>必修</b>
<b>【研究派遣 Overseas Dispatch for Research in XX】</b>		
<b>[OD2 : 英語]</b> 2026 年 9 月~2027 年 1 月	<b>研究活動実施 :</b> 派遣者自らが調整し受入を承諾いただいた海外の 受入先研究機関において、自身の研究上の課題 と事業化案に関わる研究活動を実施 ※ (4) で記載した留意事項を踏まえて下さい。	<b>必修</b> 2 週間~1 ヶ月を予定 ※応相談
<b>【ラップアップ/報告会 Report Meeting】</b>		
<b>[RM : 日本語]</b> 2027 年 3 月	<b>報告会 :</b> GTIE で行われるアントレプレナーシップイベントでの 研修内容の振り返り・報告	<b>必修</b>

## (3) 募集人数・対象者

6 名程度

## (申請資格)

- ・GTIE 主幹・共同機関である大学に 2026 年 4 月 1 日時点で所属し、2027 年 3 月末まで在籍予定の修士課程または博士課程在学学生であって（一貫性博士課程在学学生を含む。休学中の者を除く）、大学の研究成果（所属大学の研究室において教員の指導の下、自身が研究しているものを含む）の事業化を検討している学生

## GTIE 主幹・共同機関（大学）

主幹大学		
早稲田大学	東京科学大学	東京大学
共同機関（大学）		
筑波大学	千葉大学	東京農工大学
お茶の水女子大学	神奈川県立保健福祉大学	横浜国立大学
公立大学法人横浜市立大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学
東京都立大学	東京理科大学	茨城大学
上智大学	東海大学	中央大学

## (必要条件)

- ・自身の研究の事業化を含む社会実装について強い関心を有すること
- ・本プログラムの構成に記載されている必修プログラム（PT1, PT2, OD1, OD2, RM）の全てに参加すること

- ・本プログラムにおけるすべての活動に参加することについて、指導教員の了解を得ていること
- ・候補となる海外の受入先研究機関と調整し、受入について内諾を得ていること（応相談）
- ・自身の研究分野に関して英語でのコミュニケーションに支障がなく、ビジネス英語にも積極的に取り組む意志を有すること
- ・本プログラムに係る申請書類の作成や関係者とのコミュニケーションを日本語で行うことができること

(派遣者選考において推奨する事項)

- ・自身の研究に関連したビジネスの構想を有すること
- ・事業化活動に関連した大学等でのアントレプレナーシッププログラムの受講経験や、外部機関が提供する事業化支援プログラムへの参画経験があること
- ・GTIE GAP ファンドに過去採択された、または現在採択中の教員の研究室に所属しており、当該教員が進めている事業化活動に関わっていること
- ・NEP (NEDO) や未踏 (IPA) に採択されていること
- ・海外渡航歴があること

(4) OD2「研究派遣」に係る留意事項

申請書を提出するまでに、候補となる海外の受入先研究機関と調整し、受入について内諾をとってください。その上で、「受入日がいつからいつまでであるか（期間は 2 週間以上～1 ヶ月以下とする）」、「受入先の研究機関・研究室の情報」、「宿泊先は確保できていること」を申請書に明記してください。

研究派遣は 2026 年 9 月 1 日から 2027 年 1 月 31 日までの期間において実施するものとし、分割して実施することはできません。派遣先は 1 箇所（都市）に限られ、航空券は日本と当該都市との間の往復便のみ本プログラムにおいて支援を受けられます。

研究派遣は、基礎研究の延長ではなく、本プログラムにおける事業化活動のための開発活動のために実施されるものです。OD1「研修派遣」終了後に、研究計画書を改めて提出いただきます。

## 2. 募集・選考

(1) 募集締切

2026 年 6 月 2 日（火）正午（厳守）

(2) 申請方法

期日までに以下を行ってください。

参加者申請フォームにて、申請者の基礎情報の登録及び申請書の提出を【6 月 2 日（火）正午】までを期限とします。

なお、どうしても間に合わない場合は、その旨を【6 月 2 日（火）正午】までにメール（[utgtie@ducru.tokyo.ac.jp](mailto:utgtie@ducru.tokyo.ac.jp)）にて連絡し、【6 月 4 日（木）正午（厳守）】までに申請を行ってください。

[＜参加者申請フォームはこちら＞](#)

[＜申請書はこちら＞](#)

(3) 選考プロセス

① GTIE 事務局において申請書を元に一次選考を行います。

→選考結果を【6月9日（火）正午】までに事務局より全申請者に対し電子メールにて通知

②一次選考通過者について、英語によるプレゼンテーションを通じた英語力の確認、および事業化検証の状況の確認、事業化意欲の確認等を行う二次選考を行います。

※二次選考実施日：6月13日（土）午後 @都内某所（二次選考参加者のみに通知。対面で実施）

※参加動機・自身の研究内容・事業化アイデアと検証状況・研究派遣先の紹介等を英語で行う（説明 10 分・GTIE 指定評価者との間での質疑応答 10 分。別途撮影した動画等はいずれも、ライブで実施）

※評価における観点は「研究シーズの新規性」「事業化アイデアの革新性」「マーケットの適切さ・競争優位性、顧客獲得可能性」「研究派遣における研究内容の適正性」「事業化活動に係る意欲・資質能力」「英語力」とし、各観点の合計値を踏まえた総合評価により選考する

→選考結果を【6月15日（火）正午】までに事務局より二次選考参加者に対し電子メールにて通知

### 3. 費用

(1) GTIE より補助され、受講者において支払う必要がないもの

海外航空券購入費（燃料サーチャージ分を含む）、派遣時の現地宿泊費（※）、海外旅行保険加入費（海外での課外活動に関し派遣者が所属する大学が指定するもの）、各プログラム参加費

※ただし「研究派遣」においては、1）海外航空券については1往復分について上限 30 万円（燃料サーチャージ分を含む。エコノミークラス限定。）、2）宿泊費については総額 30 万円以下となる宿泊に係る費用（現地サービス税等を含む）のみ補助します（当該額を超えた額は参加者において自己負担を求めることを原則とします）

(2) 派遣プログラム参加者において負担するもの

日本国内交通費、派遣時の現地移動に要する費用、飲食費、Wi-Fi や eSIM 等に係る通話料・通信費、パスポート・ビザ申請費

### 4. 留意事項

(1) 知的財産等秘密情報の保持

本プログラム参加者は、プログラム参加中において、当該参加者が所属する大学が承継する特許等の知的財産（出願中など権利化前のものを含む。）に係る情報その他学外に広くもたらしべきでない大学の秘密情報について、原則として他者に開示してはいけません。

(2) 知的財産権の帰属等

本プログラム（特に研究派遣期間中）において、本プログラム参加者の着想を元にした知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権、プログラム及びデータベースに係る著作権等権利化された無体財産権等）については、原則として当該参加者が所属する機関に帰属するものとします。

(3) 研究開発の成果等の発表

本プログラム（特に研究派遣期間中）において、研究面で新たに得られた成果については、知的財産等の秘密情

報に注意しつつ、指導教員と事前相談の上、可能な内容について国内外の学会、マスコミ等に広く公表し、積極的に成果の公開・普及に努めてください。

なお、新聞、図書、雑誌論文等による成果の発表に際しては、事前に GTIE に通知するとともに JST 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）大学・エコシステム推進型第 2 期スタートアップ・エコシステム形成支援事業による成果であることを必ず明記してください。

<本プログラムや応募全般に関するお問い合わせ>

研究機関名	問合せ部署	メールアドレス
東京大学	産学協創推進本部	utgtie@ducr.u-tokyo.ac.jp

以 上